

平成29年中のニセ電話詐欺認知状況等について

1 ニセ電話詐欺の認知状況

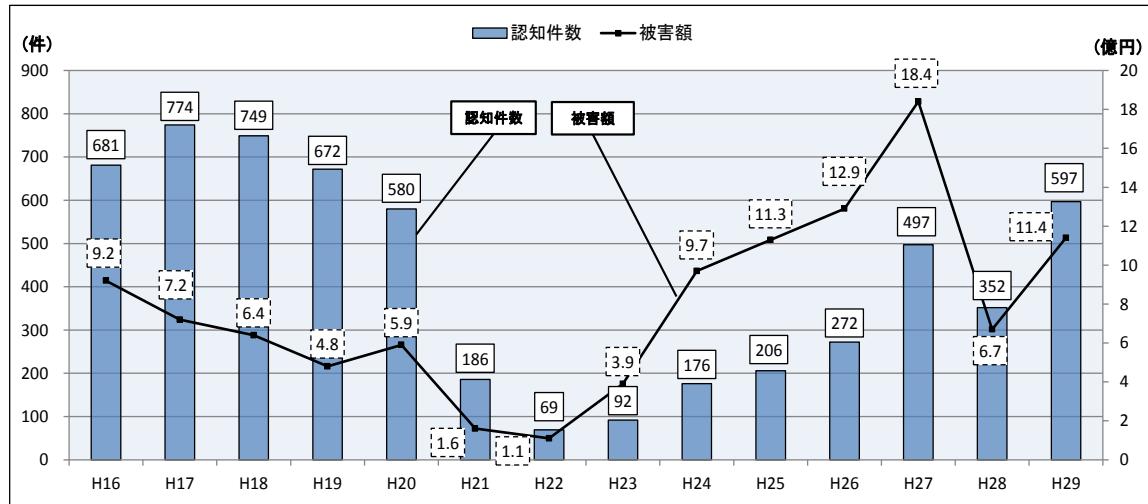
(1) 平成29年中のニセ電話詐欺の認知状況

○ 認知件数、被害額

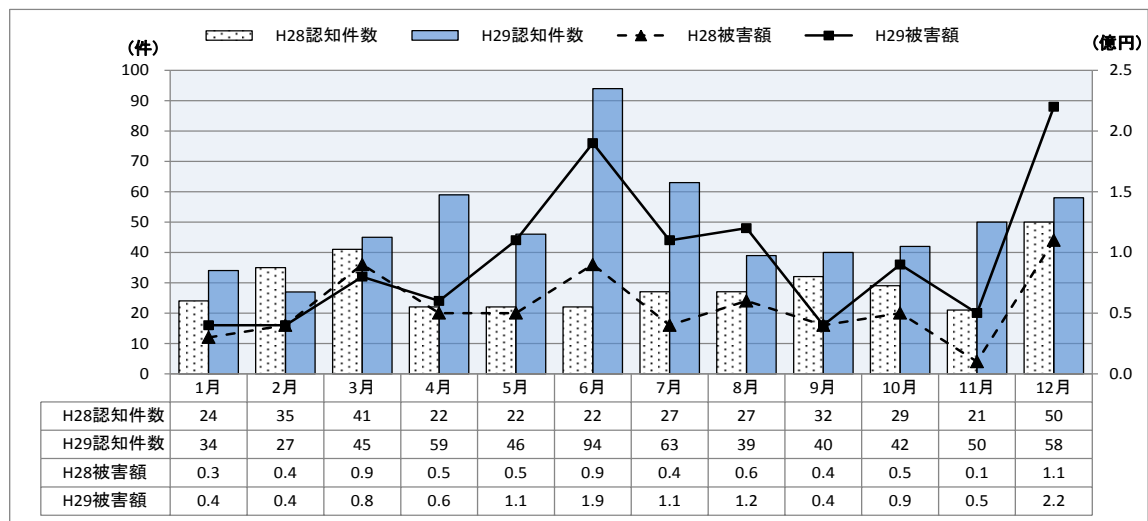
認知件数 597件 (前年比+245件、70%増)

被害額 11億4,263万円 (前年比+4億7,739万円、72%増)

【認知件数、被害額の年別推移】



【認知件数、被害額の月別推移】



2 類型別の認知状況について

【振り込み詐欺】

		福岡			
		H29年 1~12月	H28年 1~12月	増減	
オレオレ	件数	152件	38件	+114件	+300%
	被害	5億2582万円	1億2465万円	+4億0117万円	+322%
架空請求	件数	268件	128件	+140件	+109%
	被害	3億1877万円	3億4474万円	-2596万円	-8%
融資保証	件数	16件	27件	-11件	-41%
	被害	1379万円	3980万円	-2600万円	-65%
還付金等	件数	151件	153件	-2件	-1%
	被害	1億8327万円	1億3500万円	+4827万円	+36%
総計	件数	587件	346件	+241件	+70%
	被害	10億4165万円	6億4418万円	+3億9747万円	+62%

【振り込み詐欺以外のニセ電話詐欺】

		福岡			
		H29年 1~12月	H28年 1~12月	増減	
金融商品	件数	6件	4件	+2件	+50%
	被害	6604万円	1632万円	+4972万円	+305%
ギャンブル	件数	4件	1件	+3件	+300%
	被害	3493万円	309万円	+3184万円	+1030%
交際あっせん	件数	0件	1件	-1件	-100%
	被害	0万円	164万円	-164万円	-100%
その他	件数	0件	0件	±0件	-
	被害	0万円	0万円	±0万円	-
総計	件数	10件	6件	+4件	+67%
	被害	1億0097万円	2106万円	+7992万円	+380%

(1) オレオレ詐欺

○ 認知件数、被害額

認知件数 152件（前年比+114件、300%増）

被害額 5億2,582万円（前年比+4億117万円、322%増）

○ 特徴的傾向

- ・ 認知件数、被害額ともに前年と比較して大幅に増加
- ・ 被害額は、8類型の中で最多（全体の約35%を占める。）
- ・ 息子などの親族をかたる手口が約9割を占め、他には、警察官、郵便局員などをかたった手口が発生
- ・ 息子だけでなく、娘や姪など女性をかたる手口も発生
- ・ 被害金の交付形態は、受取型が約9割を占める。
- ・ 被害者の約95%が65歳以上の高齢者、約88%が女性であり、高齢女性が被害に遭う傾向がある。

年代	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	合計
被害者数	0	0	0	0	2	18	63	64	5	152

○ 手口例

【息子かたり～鞆盗難名目～】

被害者方に息子をかたる男等から電話があり、「病院で鞆を盗まれた。鞆には財布、携帯電話、通帳などが入っていた。」「JRの者ですが、息子さんのバッグが届いています。」「カバンは見つかったけど、通帳を停止しているので1千万円の取引ができない。いくらか用意できないか。」などと言われ、これを信じた被害者が、自宅に現れたナムラを名乗る男に現金200万円を手渡し、だまし取られた。

【孫かたり～横領名目～】

被害者方に孫をかたる男から電話があり、「同僚と会社のお金1,600万円を使って株を購入して損をした。2人で半分ずつ返さないといけない。」「600万円なんとかならないか。」などと言われ、これを信じた被害者が、指示に従って新幹線で東京へ行き、指定された東京都内の路上において、ヤマダを名乗る男に現金600万円を手渡し、だまし取られた。

【JR職員、警察官かたり】

被害者方にJR職員や鉄道警察隊、弁護士などを名乗る男らから電話があり、「豪華列車の予約をされていますよね。」「JRの旅行の件で被害届が出ています。」「このままでは罪に問われます。」「仮保釈金が必要です。」「財産を預けた方がいいですよ。」などと言われ、これを信じた被害者が、指定された東京都内の住所地に現金を送付したり、自宅付近に受け取りに来た男に現金を渡すなどして、現金合計約7,400万円をだまされた。

(2) 架空請求詐欺

○ 認知件数、被害額

認知件数 268件（前年比+140件、109%増）

被害額 3億1,877万円（前年比-2,596万円、8%減）

○ 特徴的傾向

- ・ 前年と比較し、認知件数はほぼ倍増するも、被害額は微減

- ・ 有料サイトの利用料金等を名目とした手口が191件と最多で、架空請求詐欺の約7割を占める。
- ・ 交付形態では、1件あたりの被害額が比較的少ない電子マネー型が約6割を占める。
- ・ 被害者の約72%が64歳以下、約67%が女性であり、高齢者以外の幅広い世代が被害に遭う傾向がある。

年代	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	合計
被害者数	10	31	41	38	48	49	38	13	0	268

○ 手口例

【有料サイト利用料金等名目～電子マネー型～】

被害者の携帯電話に「登録料金の未納が発生している。」という内容のメールが届いたため、メールに記載された電話番号に架電したところ、ナカムラと名乗る男から「47万円が未払いになっています。」などと言われ、さらに別の男からも「別の未払い金がある。」「弁護士費用がかかる。」等と言われ、複数のコンビニエンスストアにおいて、合計600万円分の電子マネーカードを購入して、相手にカード番号を伝え、電子マネー利用権をだまし取られた。

【有料サイト利用料金等名目～コンビニのマルチ端末利用～】

被害者の携帯電話に「登録料金の未納が発生している。」という内容のメールが届いたため、メールに記載された電話番号に架電したところ、キムラと名乗る男から「未納料金の支払いのため、コンビニに行ってくれ。」などと言われ、指示されるまま、コンビニに設置のマルチ端末を操作し、出てきたレシートをレジに持って行き、現金を支払い、だまし取られた。

【還付金名目～キャッシュカード手交型～】

被害者方に市役所職員を名乗る男から電話があり、「保険料の支払いがあります。持っている口座を教えてください。」などと言われ、さらにA銀行から電話があり、「今お持ちのキャッシュカードは古くて使えません。新しいカードは郵送しますので、とりあえず古いカードを回収に行きます。」などと言われ、これを信じた被害者が、自宅に現れた銀行員を名乗る男にキャッシュカードを渡し、だまし取られた。

(3) 融資保証金詐欺

○ 認知件数、被害額

認知件数 16件（前年比－11件、41%減）

被害額 1,379万円（前年比－2,600万円、65%減）

○ 特徴的傾向

- ・ 認知件数、被害額ともに前年と比較して減少
- ・ 融資に必要な保証金や手数料名目で現金を振り込ませる手口
- ・ 被害者の約81%が64歳以下、約69%が男性であり、高齢者以外が被害に遭う傾向がある。

年代	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	合計
被害者数	0	4	2	2	4	3	1	0	0	16

○ 手口例

被害者が経営する会社事務所にFAX送信されてきた融資案内を見て、被害者が800万円の融資を申し込み、貸金業者の社員を名乗る男2名と電話やFAXでやり取りをしたところ、「融資実行に際しては、事務手数料が必要です。」「依頼人名に契約番号が入っていない。」「番号を間違えている。」「実行手数料が必要です。」「保証金が必要です。」などと言われ、これらの話を信じて、相手が指定する口座に複数回に亘って現金を振り込み、現金合計約500万円をだまし取られた。

(4) 還付金詐欺

○ 認知件数、被害額

認知件数 151件（前年比-2件、1%減）

被害額 1億8,327万円（前年比+4,827万円、36%増）

○ 特徴的傾向

- ・ 前年と比較して、認知件数は微減、被害額は増加
- ・ 1月～7月に多発（144件）するも、8月以降は大幅減（7件）
- ・ 名目別では、「健康・社会保険の還付金名目」96件、「医療費の還付金名目」40件、「税金の還付金名目」4件、「その他の名目」11件である。
- ・ 被害金の交付形態は、全て、ATMを指示どおりに操作させる振込型
- ・ 被害者が利用したATMは、全て、スーパーやショッピングモール等の商業施設、病院、駅などの無人のATMである。
- ・ 被害者の約96%が65歳以上の高齢者、約77%が女性であり、高齢女性が被害に遭う傾向がある。

年代	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	合計
被害者数	0	0	0	1	0	30	103	17	0	151

○ 手口例

被害者方に市役所の職員を名乗る男から電話があり、「国民健康保険の還付金があります。」「手続きは今日までなので銀行から電話させます。」等と言われ、さらに、銀行員を名乗る男から電話があり、「手続きのやり方を教えますので携帯電話番号を教えてください。」「スーパーのATMが新しくなったので手続きできます。」等と言われ、指定されたスーパーのATMに行き、指示通りにATMを操作したところ、2回にわたり、指定された2口座に現金合計約180万円を振り込み、だまし取られた。

3 被害者の男女別・年齢別の認知状況

(1) 男女別

	男性	女性	合計	男性・割合	女性・割合
認知件数	159	438	597	27%	73%
被害額	3億1,025万円	8億3,238万円	11億4,263万円	27%	73%

○ 特徴的傾向

認知件数、被害額ともに女性の割合が高い。

(2) 年齢別

○ 年代別の被害者数

年代	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	合計
被害者数	10	37	43	42	56	101	206	97	5	597

○ 65歳以上の高齢者の割合

	65歳以上	64歳以下	合計	65歳以上割合	64歳以下割合
認知件数	371	226	597	62%	38%
被害額	9億3,705万円	2億558万円	11億4,263万円	82%	18%

○ 特徴的傾向

認知件数、被害額ともに、65歳以上の高齢者の割合が高い。